

5 単元構想図

○単元の目標

小数の意味や表し方について理解し、小数の加減計算ができるようにする。

しなやかに考える子ども像	<ul style="list-style-type: none"> 数と数の間に点があるよ。 整数と同じように数字が並んでいるよ。 0から始まる数字もあるね。 cmとmmのときと似ているね。 1cmより短い長さを表すときに目盛りを10等分したから、1Lより小さいかさを表すときも10等分してみればいい。 0.1Lが何こあるかで表せそう。 	<ul style="list-style-type: none"> 1mmは1cmを10等分した長さだから0.1cmになりそう。 小数を使うと1つの単位で表すことができて便利。 	<ul style="list-style-type: none"> 小数も数直線で表すことができるんだ。 1目盛りがいくつかを考えると分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 147.2は100を1個10を4個、1を7個、0.1を2個合わせた数。 小数第1位ということは小数第2位もあるのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> 数直線に表すと大きさが比べられそう。 3は0.1が30こ分、2.9は0.1が29こ分だから3のほうが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 式は$0.5+0.3$になると思う。 図で考えてみよう。 0.1が何こ分かで考えられそう。 小数第一位どうしのたし算はできそう。 ひき算は、たし算と同じように考えるとできるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> 0.1をもとにすると、整数と同じように計算できる。 小数のたし算の筆算も整数の筆算と同じように、位をそろえて下の位から計算すればいい。 ひき算の筆算もたし算と同じように位をそろえて計算すればいいよ。 	<ul style="list-style-type: none"> 2.8は2と0.8を合わせた数になる。 式に表すと$2+0.8=2.8$ 数直線で説明すると・・・ たし算だけでなく、ひき算でも表せそう。 1つの小数なのにいろいろな表し方があるね。 	この問題は、前に学習した～を使えば解けるね。		
時	1・2	3	4	5	6(①1組)	7・8	9(②2組)・10	11(②3組)	12	13	
目標	整数で表せない端数部分の大きさを表すのに小数が用いられることを理解する。	長さ(cm)の場合も小数を用いて表すことができ、小数を用いると単名数で表すことができることを理解する。	数直線に表された小数を読んだり、数直線に小数を表したりすることができる。	用語「小数第一位」を知り、数直線に表された小数を読んだり、数直線に小数を表したりすることができる。	小数の大小関係について理解する。	小数第一位どうしの小数の加法とその減法の計算の仕方を理解し、それらの計算ができる。	小数第一位までの小数の加法・減法の筆算の仕方を理解し、それらの計算ができる。	小数についても、いろいろな見方や表し方ができることを理解する。	学習内容を適用して問題を解決する。	学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	
単元の構想	考え方	「数を拡張すること」 「整数を見る観点を増やすこと」 「計算について考える」									
	算数的活動	既習内容を基に計算方法をつくり出す → 整数の加減計算を基に考える									
	学習内容	具体物、数直線などの図、言葉、式などを用いて考えたり、説明したりする活動									
	既習事項	1L=10dL 整数の加減計算(筆算) 整数の数直線の目盛りの読み方 1cmに満たない長さをmmを使って表すこと・簡単な分数・整数の見方 十進位取り記数法									
評価規準	関 身の回りにある小数に関心をもち、小数が用いられる場合について考えようとしている。	知 用語「小数」「小数点」「整数」を理解している。	技 長さについて小数で表すことができる。	考 整数の数直線と関連づけて、数直線上の小数の読み方を考え、説明している。	知 小数の各位の数字は、それぞれ100、10、1、0.1などの単位の個数を示していることを理解している。	考 数直線や構成を基に、小数の大小を考え、表現している。	技 小数第一位同士の加法・減法の計算ができる。	考 小数の仕組みや整数の筆算をもとに、小数の加法・減法の筆算の仕方を説明している。	考 小数の仕組みを基に、数直線や式を用いて、2.8の多様な見方について考え、表現している。	技 学習内容を適用して、問題を解決することができる。	知 基本的な学習内容を身に付けている。